

## 9月の県内景況は、円安による原材料の高騰で各組合の経営は厳しさが増している。

情報連絡員による平成26年9月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は18.4%（前月比+1.7）となっており、「横這い」は38.3%（同+8.3）、「低調」とするところが43.3%（同-10.0）、業界全体の「景況感DI」は-25.0（同+11.7）となっています。

### 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「設備操業度」「雇用人員」の項目において前月と比較して悪化しています。

### 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、建設業は「快晴」、鉄工機械製造業、その他の製造業は「薄曇り」または「曇り」、その他の業種はすべて「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、やや悪化、悪化の見込みは、25.0%（前月比+1.6）と増加しております。好転、やや好転の見込みとの回答が15.0%（前月比-1.7）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答9件）（製造業6、非製造業3）。また、変わらないが、60.0%（前月比0）と増加しております。

平成26年9月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-57.14	-85.71	0.00	42.86	-42.86	-57.14	-14.29	-28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-57.14
繊維製品製造	0.00	0.00	0.00	-33.33	0.00	0.00	0.00	-33.33	0.00	-33.33	0.00	-33.33
木材製品製造	25.00	-50.00	-25.00	-50.00	0.00	-75.00	0.00	-50.00	0.00	25.00	-25.00	-75.00
鉄工機械製造	-20.00	-20.00	0.00	20.00	-40.00	0.00	-20.00	-20.00	0.00	-40.00	-20.00	0.00
その他の製造	42.86	14.29	14.29	28.57	-14.29	-14.29	-14.29	0.00	-14.29	-14.29	-28.57	-28.57
卸売業	-50.00	25.00	-50.00	-25.00	-50.00	-25.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	-50.00
小売業	-11.11	0.00	11.11	11.11	0.00	-55.56	-22.22	-11.11	-11.11	0.00	-22.22	-44.44
商店街	0.00	-33.33	16.67	0.00	16.67	0.00	16.67	0.00	-16.67	-16.67	0.00	-33.33
サービス業	-28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-57.14	-42.86	-14.29	-14.29	0.00	0.00	0.00	-42.86
建設業	20.00	80.00	0.00	60.00	0.00	40.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	40.00
運輸業	0.00	-33.33	0.00	33.33	-33.33	-100.00	-33.33	-100.00	-33.33	-100.00	-33.33	-66.67

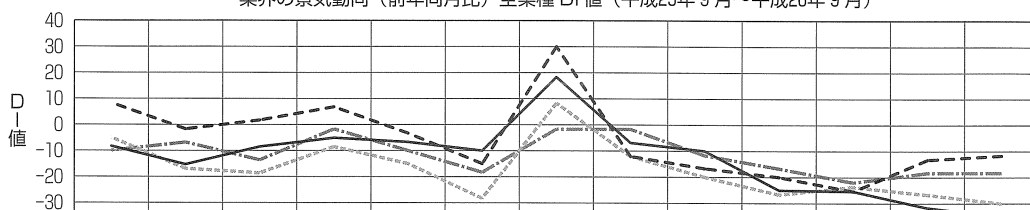
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

### D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うす曇り -10~10未満
- 曇り -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成25年9月～平成26年9月）



	平成25年9月	平成25年10月	平成25年11月	平成25年12月	平成26年1月	平成26年2月	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月
業界の景況	-8.3	-5.1	-8.5	-5.1	-6.7	-10.0	18.3	-6.9	-10.0	-25.0	-25.4	-31.7	-35.0
売上高	8.3	-1.7	1.7	6.8	-3.3	-15.0	30.0	-12.1	-16.7	-20.0	-25.4	-13.3	-11.7
収益状況	-5.0	-16.9	-18.6	-8.5	-15.0	-28.3	8.3	-12.1	-20.0	-26.7	-23.7	-26.7	-30.0
資金繰り	-10.0	-6.8	-13.6	-1.7	-10.0	-18.3	-1.7	-1.7	-11.7	-16.7	-22.0	-18.3	-18.3

## 食料品製造業

### <漬物>

浅漬屋さんは原料が天候不順で仕入れが高い。輸入原料は為替が円安になり、原料が高騰。運賃、電気、資材、ガソリン、人件費、すべての経費と原料が上がリ、売価が変わらず、大変厳しい状況にある。9月の急激な円安により、今後の中小企業の業績はますます厳しさが増すと思われる。

### <味噌醤油>

為替相場による円安が続き、海外依存の主原料の高騰により、出荷数量の低迷が回復もその兆しもみえない状況で、県内組合員の厳しい経営が続いている。風評被害のある中、全国醤油品評会において、福島県の醤油が2年連続受賞し、明るいニュースとなった。これを機に復旧・復興・風評被害が少しでも良い方向に進んでくれれば良いと願っている。

### <酒造>

状況は良くないが、純米酒はのびている。風評被害は相変わらずで、国・県に対して対応をお願いしたい。

### <食品団地>

円安の影響で、原料・原油の価格は上がっており、収益が厳しい状態が続いている。また、消費に関しても前年対比で減少が続いている。

## 縫製品・同製品製造業

### <ニット>

人手不足が深刻化してきている。

### <縫製品>

秋冬物の生産が9月でほぼ完了。予想以上に早く終わってしまった。これからは仕事の確保が最大の関心事である。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

秋需を見越し(期待し)製材工場では丸太を買い入れ始めたことから、丸太価格は少しずつ値上がりに転じている。一方、県内の住宅着工は堅調であるが、首都圏では消費税増税の反動減から脱しておらず、製品価格は伸び悩んでおり、製材所は苦境に立たされている。

### <外材輸入>

長引く製材品需要の低迷に追い打ちをかけるように、8月末からの急激な為替円安進行により組合員企業の経営は厳しさが増している。

## 紙・紙加工品製造業

### <紙器・段ボール>

3年過ぎても風評被害は依然としておさまることなく、期待していた7月、8月のお中元贈答用も不調に終わり、前年同月と比較しても大幅な売上減に落ち込んでいる。特に観光業向けの土産箱も軒並み不調だった。段ボール箱業界も世界的なグローバル化の中で輸入品は海外で作られた段ボール箱に入ってくるため、ますます需要が減少する見通しとなっている。

## 印刷業

### <印刷>

4月の消費税率引き上げ後、景気が下向き傾向になっている。受注状況は全体として前年割れが続いている。

## 窯業・土石製品製造業

### <陶磁器>

増加といっても微増であり、来月も同様と思われる。観光のシーズンによって売上は変化する。

### <碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約6%の増
2. 当月売上高の昨年同月比 約20%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約15%の増
4. 原因・状況 除染関連工事と生コン工場・霊山道路工事等に納入し、売上増となった。

### <生コン>

平成26年9月の組合員生コン出荷数量は、176,230㎡と対前年同月比11.5%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比37.8%の増、官公需が3.4%の減であった。

#### ■民需の動向

対前年同月比 37.8%の増

① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 10.3%の増

土湯小発電所建設工事、工場新・増築工事、物流倉庫増築工事等

<県中地区> 26.8%の増

マンション新築工事、物流センター、斎場新築工事等

<白河地区> 3.4%の増

新白河信金ビル建築工事、物流倉庫、太陽光メガソーラー建設工事等

<いわき地区> 12.7%の増

工場増設工事、県漁連冷凍冷蔵施設建設工事等

<相双地区> 112%の増

原発保安対策工事、給食センター新築工事、広野火発消波ブロック工事等

<会津地区> 89.7%の増

老人福祉施設建設工事、会津中央病院増築工事等

#### ■官公需の動向

対前年同月比 3.4%の減

① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 101.2%の増

R115馬館山トンネル、国見町庁舎建設、県北浄化センター工事等

<県中地区> 26.6%の増

郡山市中央公民館改築工事、環境創造センターA棟新築工事等

<白河地区> 16.8%の増

白河中央中学校建設工事、災害復興住宅建設工事等

② 対前年同月比減少地区

<いわき地区> 32.8%の減

小名浜港追悼地区岸壁復旧、復興公営住宅建設工事等

<相双地区> 13.2%の減

海岸保全施設整備工事、減容化施設工事等

<会津地区> 6.5%の減

復興公営住宅工事、湯川村新庁舎建設工事等

## 鉄鋼・金属・一般機械製造業

### <鉄工>

(県中地区)

鉄骨関係はいいが、機械部品はいいとは言えない。

### <各種プラント機器>

当組合のプラント関連業界は、見積引合は前月同様

やや減少状況で推移、各社とも受注確保に苦慮している。したがって、今月も売上高・収益状況は前月同様に厳しい状況である。

## 卸売業

### <卸売業>

(県中地区)

全体として大きな変化はないが、やや減速気味か。為替変動による影響は今のところ小さいが、一定の時間を経て、仕入れ価格の上昇につながる事が予想され、警戒感を強めている。建築資材は、引き続き堅調に推移。ただし価格の高騰部分を吸収している例も多く、利幅はイメージほど高くない。また、人手不足の払拭には至っていない。こうした傾向はしばらく続くとの見方が多い。

### <再生資源>

9月も連日、暑い日が続き台風の上陸もあったが本県は全体的には好天に恵まれた。古紙市場において、回収量は相変わらず低調に推移し在庫は不足している。市況面においては、為替の円安基調に伴いアジア向け古紙輸出市況は強気ムードである。国内向け古紙はこれから秋需期に向かい、国内古紙メーカーの需要動向と市中の発生動向が注目される。

## 小売業

### <共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

9月は創業祭でにぎわい、売上増に期待したが、財布のひもが固く来店客数は増えたものの、売上増にはならなかった。前月比で2桁のダウン、前年比で1桁ダウンとなった。飲食店は、昨年比を上回る実績をだしている。10月は、地域の稲刈りの時期となり、さらに売上が悪化する見通し。

(県中地区のNショッピングセンター)

新しい動きとして、ツルハの誘致が本格的に決定をみるところにあることから、その具体的対策を前向きに検討する段階にきている。今後の活性化策の大きな柱として取り組みたい。

### <石油>

9月元売仕切価格が若干値下がりする中、県内小売価格も低下している。一方需要は8月に引き続き低迷しており、需要回復の兆しは見えない状況となり、売上減少が経営を圧迫している。

### <青果>

前月より続いた豪雨による単価上昇の影響で、品薄状態はあったものの、売上高が少なかったが増加した。秋彼岸や会津まつりとイベントがあり、観光客は多かったが、小売店の売上は伸びなかった。これから始まる山菜類において今年も放射能による災害で県産の取扱ができないため、取扱や売上の増加は期待できそうにない。

### <電機>

10月、11月の合展、個展に期待。9月の売上はあまりよくない。業界全体で横ばい。

## 商店街

### <福島市>

9月より、“Fukushimaアキフェスinえきまえ2014”が始まり、毎週末に何らかのイベントが開かれ、また天候にも恵まれたこともあり、賑わいを感じさせ

てくれた。また、平日に関しては、夜は若干の回復傾向が見られるもイマイチなままであるが、昼はそれなりに人通りは回復してきた感がある。

### <郡山市>

9月は、まるで8月の反動がきたような感じで大きく減少した。9月も先月に引き続いて商店街通りでイベントがいくつかあったが、大きな増加にはならなかった。消費動向もなかなか上がらないように見える。10月は、郡山市でB-1グランプリがあり、この日に合わせて商店街通りでも大きなイベントがあるので、大きく盛り上がることを期待している。

### <南相馬市>

春以降、じわりと厳しさを増している。現在にぎわい補助金を活用して活性化事業に取り組んでいるが、全体として低調。

### <会津若松市>

会津まつりは天候にも恵まれ人出も多かった。特に藩公行列では綾瀬はるかさん効果でかなりの人手だった。その前後は店内にもぎやかだった。

### <いわき市>

残暑もゆるい9月だったため、ファッションを中心に秋物の動きが早いようだ。昨年は台風の影響もあり、お客様の足が鈍かったが、今年は天候にも恵まれている。しかしながら、消費税アップから買い物に慎重になっているため、10月の売上の前倒しかと心配される。行楽の秋、10月も穏やかな天気に恵まれるよう願うばかり。心待ちにしている。

## サービス業

### <旅館業>

(土湯温泉)

福島市より震災対応として2年間、65歳以上の福島市民へ5,000円の宿泊料補助事業があったことから、県外からの観光客減少をカバーしてきたが、平成26年度からそれも打ち切られたことから、震災直後のような厳しい状況となっている。つまり、この2年の期間でも本県に対する風評被害は消えていない。

### <理容業>

もう少し残暑が続けば夏メニューも売れたと思うが、9月に入り朝夕涼しくなり客足も少なくなった。毎年このころだが、お盆のころに調髪した人たちはまだ来店するところではないし、涼しくなるにつれて暇になっていくので、調髪以外の癒しのメニューや夏の暑さで傷んだ髪やお肌の手入れ等提案し消費者の信頼を高めるよう努力していきたい。

### <廃棄物収集運搬業>

震災に伴う事業は現在ではおおむね完了したものの、単発的な業務がある。廃棄物関連の業務については、漁業関連の事業の再開や旅館等観光に関する事業の復興の遅れがあり、まだ先が見えない状況。

## 建設業

### <建設業>

(県一円)

東日本建設業保証(株)の県内における発注者別・月別前払金保証取扱高の推移によると請負金額の4~5割台を除染関連事業が占めている状況にある。

(県南地区)

除染作業の発注が多く、ピークを迎えている。フレ

コンバグが不足して業務がとまる寸前の状況である。また、山砂と黒土も不足しており、工期限内に完了できない可能性がある。フレコンバグをはじめ、資材が値上がりしているため、採算が悪くなってきている。

#### <管工事>

前月比で給水・排水設備申請とも増加。前年同月累計対比では、給水・排水設備申請とも減少している。

#### <専門工事>

安全月間の最中、火山が突然噴火するという事態が発生し、多くの方が犠牲となった。東日本大震災から3年半が経過した一方で「突然発生する大参事」というものを改めて体感し、痛感した感がある。福島県知事選挙が国政主導なのか地域主導なのか揉めているが、それ以前に我々の生活というものが危険と絶えず隣り合わせだという意識と、その不安定さの中でも安定を目指さなければならないという意識の両面をきちんともたなければならないと考える。円安・株高の影

響はまだ出ていないが、いずれ顕著化することが想定されるため、資材の供給、価格安定も含め、注意が必要と思われる。

## 運輸業

#### <トラック運送>

(県北地区)

売上は横ばいで推移している。燃料費は依然高止まりであり、減益の一因となっている。トラック運転手が不足しており、経営維持の不安材料となっている。

(県中地区)

人手不足の厳しい状況が続いている。

#### <ハイヤータクシー>

動きが低調である。天候が比較的穏やかだったことと、運賃改正による乗り控えが重なったためか。来月は福島競馬開催と観光シーズンで動きがよくなってほしい。

## 県政トピックス

2014. 11

### 第3回ふくしま復興

# 再生可能エネルギー産業フェア2014

(REIFふくしま2014)

国内外から過去最多の169企業・団体がふくしまに集結!

#### ☀「第3回ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア2014」とは

「再生可能エネルギー先駆けの地」を目指す福島県では、今年も関連企業が一堂に会する「再生可能エネルギー産業フェア (REIFふくしま)」を開催します。

3回目を迎える今年は、過去最多の169の企業・団体が本県に集結。国内外の企業や研究機関による最新技術・製品の展示はもとより、今年開所した産総研福島再生可能エネルギー研究所と連携した情報発信など多彩なイベントを取りそろえ、関連産業に携わる皆様をお待ちしております。

ビジネスチャンスの発掘に是非ご来場ください。

☀ **日 時** 平成26年12月3日(水)、4日(木) 10:00~17:00

☀ **会場** ビッグパレットふくしま (郡山市)

☀ **セミナー** 今年4月に開所した産総研福島再生可能エネルギー研究所によるFREA“再エネ”セミナーのほか、昨年11月に2MW風車の運転が開始した浮体式洋上風力実証研究事業の取組状況に関するセミナー、さらには、産業タイムズ社代表取締役社長長谷渉氏による今話題の水素エネルギーに関するセミナー等を実施。

☀ **出展者** 国内外から169企業・団体、285小間の出展

☀ **主催** 福島県、(公財)福島県産業振興センター

☀ **参加申込み** ○展示会 **入場無料・申込み不要** \*当日は名刺をお持ちください。

○セミナー **入場無料・事前申込制**

お申込み・詳細はWebで↓

<http://reif-fukushima.jp/>

☀ **お問い合わせ** 公益財団法人福島県産業振興センター技術支援部

電話番号 024-959-1961